

平成28年第10回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成28年10月11日(火)

午後1時30分開会

開催日時	平成28年10月11日	開会 1時30分 閉会 2時32分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	教 育 長 山本 修司 教育長職務 代理者 鮎川志津子	委 員 福元 弘和 委 員 渡邊 恭秀 委 員 岡村理栄子	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 川合 修 生涯学習部長 西田 剛 庶務課長 加藤 真一 学務課長 河田 京子 指導室長 小林 正隆 統括指導主事 高橋 良友 指導主事 丸山 智史 生涯学習課長 石原 弘一	図書館長 菊池 幸子 公民館長 前島 賢 庶務係長 平野 純也	
調 製			
傍聴者人数	2名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	報 告 事 項	1 平成 2 8 年第 3 回小金井市議会定例会について 2 その他 3 今後の日程
第 3	代 処 第 1 8 号	職員の分限処分に関する代理処理について

山本教育長 皆さん、こんにちは。ただいまから平成28年第10回小金井市教育委員会定例会を開会する。

日程第1、会議録署名委員の指名。

本日の会議録署名委員は、鮎川教育長職務代理者と福元委員にお願いする。よろしく願います。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

山本教育長 それでは、今日は時間的にゆとりがあるので、お一人一言ずつお話をしていただければと思う。

まず、最初に私のほうから1つ話をさせていただく。

一昨日、学芸大学で科学の祭典が盛大に行われた。100以上のブースを一通り見たが、大変すばらしい催し物だと思う。子どもたちのために小金井市の地域の力が結集された、そういう行事だと思う。大成功だったと思っている。

そこで話がちょっと飛ぶが、小金井二小にマイケル・ノーベルさんというノーベル賞をつくった方のひ孫ではなくてひ甥に当たる方で一族の方なんだが、その方がおいでになって小金井二小の子どもたちとお話をきて、その後、市役所のほうにいらっしゃった。市長、副市長、私と一緒に、通訳の方を入れながらお話をさせていただいたが、その中で印象に残っているのが、マイケル・ノーベルさんが二小の子どもたちを見て、何て立派な子どもたちだ、集中力といい、聞く態度といい、話の内容といいというお話をして絶賛された。

夏休みの自由研究の作品を見て、そのレベルの高さに非常に驚いたと。スウェーデンのハイスクールのレベルだと言っていた。私、そのとき、ハイスクールと聞いて高校生かと思ったら、よく考えたら外国は中学生と高校生、一緒だよ。だから、ハイスクールというのは中学生も入るのだなと、思ったのだけれども。とにかくレベルが高いのだというお話をされていた。

それで、科学の祭典に戻るのだが、科学の祭典で14校の子どもたちの作品10点ずつ140点のレポートやら作品を展示してあったが、それを見てほんとうに感心した。非常に緻密な研究を小学

校から中学校まで子どもたちが一生懸命夏休みの間、観察して、考察して、それをレポートに仕上げ、写真なんかもふんだんに使った作品を並べていたので、ああ、マイケル・ノーベルさんの言ったとおりだなと。小金井の子どもたちがよく頑張っていて、しかもそれを発表する、こういう機会があつてほんとうによかったなど、つくづく思ったということである。

以上である。

それでは、鮎川委員、願います。

鮎川教育長  
職務代理者

マイケル・ノーベルさんの講演会について、私は二小で実際に伺ってきた。教育長先生の話にもあつたとおり、マイケル・ノーベルさんの話自体、もちろんすばらしかったが、子どもたちがきちんと聞いていた。ノーベルさんは英語でお話しになって通訳という、小学生の子どもたちにとって半分はわからない言語の話にもかかわらず、話を聞いている姿がとても立派だった。

事前に先生方のご指導もあつたことと思うが、子どもたちのすばらしい資質が、聞く態度にあらわれていると思った。

前回の教育委員会以降、様々な場に教育委員として出席させていただいた。教育委員会連合会の理事会など、他市の教育委員会の方々とお話をした際、小金井について、たくさんのお褒めの言葉をいただき、小金井市の市民であることに誇りを感じている。小金井の教育の高さは、大変うらやましがられている。

9月はスポーツの秋でもあり、PTA連合会のビーチボールバレー大会や市民体育祭など、さまざまな行事を拝見した。市民体育祭の開会式で一中の吹奏楽部が演奏した。今まで中学校の部活動の生徒が市民体育祭の開会式に参加したことはなかったと記憶している。社会教育と学校教育が一緒になって行うという、小金井のすばらしさと思っている。

本日午前中、東小学校の学校運営連絡会に行ってきた。そこで授業を拝見した後、学校運営連絡委員の方々の話を聞いた。いろいろな貴重なご意見を伺った中で私がうれしく感じたのは、運営連絡委員の2名の方から、6年生の社会科の授業が、大変レベルが高いというお褒めの言葉をいただいた。歴史の分野と地理の分野の融合のような形で、教科書の通り一遍の内容ではなく、深く、そして先生方が子どもたちに考えさせながら、レベルの高い授業を行ってくだ

さっており、それを運営連絡委員の方々が評価してくださったということ、大変うれしく思った。

長くなったが、以上である。

山本教育長

ありがとう。

福元委員、お願いする。

福元委員

今、お二人から小金井の教育の充実している部分について幾つかのお話があった。私も同じようなものを実感する機会があった。10月2日に市内の小学校8校で運動会があったが、その運動会を見ていて、年々充実してきているように感じながら見ていた。子どもたちの燃えるというか、意欲的な運動会への参加態度、それから教職員の場面に応じた適切な動き、また、PTAの方々の全面的な支援、そんな場面をいくつも見た。どの学校も、どんどん充実してきているなと思った。

おまけに、何校かで気がついたんだが、トンボがいっぱい校庭の上空を飛んでいて、子どもと一緒に運動会に参加しているように見えた。これもまた小金井の自然環境のよさというか、小金井が自慢できるところだなと思いながら見ていた。

以上である。

山本教育長

ありがとう。

渡邊委員、お願いする。

渡邊委員

私、9月の商工会の理事会で紹介していただいたアプリは、VoiceTraというアプリですが、皆さんご存じと思いますが、29の言語を同時に通訳するので、例えば日本語で話すと英語にかえてきます。それは英語だけではなくてタイ語だとか中国語とか、これ、全部無料なので、これからオリンピックとかパラリンピックがあると外国の方が、もう既にいらっしゃっていますが、子どもたちの教育とはまた別な観点で持っていると思うのでご紹介させていただきました。

これはまた別な話だが、木村都議の報告会に9月8日に参加しましたが、そのときに東八道路にかかっている歩道橋について撤去する話が出て、歩道橋というのは教育委員会の担当とのことで、通学

路になっているので。その辺の話を、私はちょっと初耳だったので、ほんとうだったら歩道橋と、高齢者にとっては歩道橋というのは負担なんだね、上り下りがあるので。そのかわりに、信号機をつけるという話なんだね。信号機をつけて歩道橋を撤去すると。

私は、歩道橋のほうがはるかに安全なので、できたら両方あったほうがいいのかなどは思ったんだけど、既に決まっていることなので、その辺の話が、どなたか詳しいお話を知っていればと、知りたかったです。

あと、秋の小金井市の交通安全運動、9月21日から30日まで、これは既に終わってしまいましたが、ただ、この日に5カ年計画というのが発表されて、そのとき、中学校ぐらいまでの交通安全の教育というのは書かれていましたが、小学校の部分で書かれていなかったもので、その辺を盛り込んでほしいという意見が出て、実際にはそういったもので発表されると思いますが、その様な意見がありました。

あと、運動会なんだけれども、当初土曜日だったので、近所の方で、おじいちゃん、おばあちゃんに土曜日に行ってしまった方がいました。日曜日の朝行ったが、昨日行けなかったもので、今日、実際にやるかどうかというので朝早く見に来た人がいて、家に帰って、今日はやるということらしいので、また出かけるという方もいました。運動会自身大変だと思いますが、できたらお父さん、お母さんからおじいちゃん、おばあちゃんに連絡してあげれば良いと思います。

以上である。

山本教育長

ありがとう。

岡村委員、お願いします。

岡村委員

私も運動会に4校行きました。本当に小学生が一生懸命頑張っていて、すばらしいなと思った。また、東小で騎馬戦を見たのだが、危ないかなと思っていたら、先生方がよく目立つおそろいの赤いTシャツを着て、前にちゃんとしているのが確認でき、先生方の動きがとてもよくて、もし何かあったときは支えるという感じで、いいなと思った。親御さんたちもこれなら安心だなと思った。

あとピラミッドがなくなったかわりに、アクト何とかという、組

み体操をやっていて、それでも十分と言ったらおかしいけど、子どもたちには達成感があったようで、親御さんも見ながら泣いている人もいらしたし、とても感動的で、本当に子どもたちが一生懸命やるのって素晴らしいことだなと思った。このような感動はやはり地域全体で感じるほうがいいので、おじいちゃん、おばあちゃんたちも来られるようにした方がよいと思った。天候による日程変更が三小は早く、既に金曜日に決まっていて、子どもたちの患者さんが来て、「日曜日になったら来てね」とか言っていた。三小の先生がすごく判断が早かったらしく、「お母さん方にお弁当を2回作っていただくのは悪いから」と言っていたとかで、金曜日の早い段階で決められて、すぐに地域に広がっていた。早めの的確な判断だったと思う。

赤組も白組も勝ち負けにこだわる真剣勝負をしていて、とても楽しい運動会だった。私、去年も見えていたはずなのに、徒競走は今、男女が一緒に走るって初めて気づいた。三小は、何年生は早い者順、何年生は背の高さ、何年生は抽選とか、いろいろ工夫して、やっぱり1番になりたいから一生懸命走るのも大切だけど、みんなの前で走るということを一生懸命やるということは、子どもたちは教えなくてもよくわかっているみたいで、みんな何番でも頑張っていていいなと思った。

山本教育長

ありがとう。

それでは、次に、日程第2、報告事項を議題とする。

順次、担当より説明をお願いします。

初めに、1、平成28年度第3回小金井市議会定例会についてをお願いします。学校教育部長

川合学校  
教育部長

では、資料の方もつけているので、一緒にごらんいただきたい。

まず初めに、第3回の市議会定例会の一般質問である。

学校教育部関係では9名の議員さんからご質問等をいただいたところである。その主な内容についてご報告する。

まず1人目の遠藤議員からは、薬物乱用防止を進めていくために、小中学校での取組推進をとのご質問があった。このご質問に対して教育委員会といたしては、各学校が授業はもとより教育活動などあらゆる場面を活用し、家庭、地域、関係機関との連携を図りつつ、薬物乱用防止教育を力強く推進していくよう、各学校に対して指導、

助言していく旨を答弁している。

2人目の渡辺ふき子議員からは、安全・安心のまち小金井市を築くために、ストーカー対策を前進させるべきとの趣旨のご質問の中で、学校の見守りボランティアを拡充しないかというご質問があった。教育委員会といたしては、校長会や生活指導主任研修会などで見守りボランティアの募集拡大や見守り体制の強化等、各校の効果的な取り組みについて相互に情報を共有するなどして各学校が実態に即して家庭、地域と連携、協力し、見守りボランティアを一層充実させていくよう働きかけていく旨を答弁している。

3人目の紀議員からは、教育現場においても脳脊髄液減少症の周知や平成28年4月に硬膜外自家血注入法が保険適用となったことについてを周知しないかというご質問だった。教育委員会といたしては、ポスター等があれば掲示して周知していくこと、また、個別の対応としては、本疾病の児童・生徒が在籍する学校では、教職員等の脳脊髄液減少症に関する理解を深めるとともに、本人、保護者の意向を十分配慮し、周知を図っていく旨を答弁している。

4人目の田頭議員からは、学校給食費は公会計で行い、職員の負担を軽減しようとの質問で、文部科学省の新しい見解について、市としての見解についてのご質問を受けたところである。これに対して、国のほうの状況としては、今後、学校現場における学校給食の会計業務に係る負担を軽減するため、地方公共団体等による学校給食費会計業務の実証研究の実施、実態調査、分析、先進事例の収集、発信、ガイドラインの検討などに取り組むよう推進すると国のほうではしている。市としては、東京都の考え方が示されていない中、今後、国や東京都の動向を見ながら、他市の事例などを調査研究し、情報を収集していきたいという答弁をしている。

5人目の林議員からは大きく2点、化学物質の過敏症についてと学校施設についての質問があった。1点目の過敏症については、化学物質を減らして健康被害をなくそうとの趣旨の質問の中で、小・中学校では化学物質過敏症の児童・生徒に配慮した教科書もあるようだが、その対応を求められていないかという質問である。公立の小・中学校では、調査の結果、化学過敏症ということで特別に対応している事例はないと。また、文部科学省では化学物質過敏症の児童・生徒に対する教科書の対応本を作成しており、国の委託先にあらかじめ申し込むことにより、教科書を天日干しにして化学物質を



発散させたり、コピーやカバーをするなどの対応が図られているが、対応本を希望したケースについては、特に把握していないという旨をお答えしている。

2点目の学校施設については、台風等による雨漏り等の修繕に対する考え方のご質問があった。雨漏りの状況については、台風9号では小・中学校8校、台風10号では小・中学校3校からそれぞれ雨漏りの報告があったこと、また、それぞれの雨漏りの状況について説明をしている。学校施設の修繕に対する考え方としては、国のインフラ長寿命化基本計画に基づき、地方公共団体は平成28年度までに公共施設等の総合管理計画を策定することとなっている。現在、市長部局である企画政策課を中心に策定中であることと、当該計画が策定されると、それに基づいて個別の施設ごとの長寿命化計画を作成することとなり、今後、学校施設についても長寿命化計画を策定し、補助金等を活用し、計画に基づいて建物の老朽化対策に合わせ、雨漏り対策も行うこととなる旨の答弁はしている。

6人目の板倉議員からは、就学援助制度の充実をとということで大きく4点のご質問があった。1点目、2点目については、平成28年第1回定例会において準要保護の認定基準を生活保護基準の1.8倍を1.7倍に見直したことに對し、それをまた1.8に戻せとの趣旨のご質問である。1.8倍という数値については、東京都内で一番高く、全国でも6番目の数字であり、26市平均は1.49倍であることから、3年間をかけて1.5倍とする見直しを行い、合わせて入学時には多くの費用がかかるために、入学時学用品費の単価を3年間1,000円ずつ増額し、26市中最高位に近づける見直しを行ったという経過の説明をいたした。この見直しについては、制度上、突出した部分を見直し、真に困っている世帯に手厚くする見直しであるため、元に戻すことについては困難だというふうな旨の答弁をしている。

3点目の入学学用品費を入学前に支給すべきとの質問に対しては、現在、認定申請、認定審査については新年度に入ってから行っていることから、入学前の支給については大変困難な状況であるという旨の答弁はしている。しかしながら、入学前に準備しなければならない家庭での負担があることは否めないため、調査研究をしたい旨を答弁している。

4点目のクラブ活動費、生徒会費、PTA会費を支給対象にとの

質問である。平成28年度の学校納付金調査では、28年度にクラブ活動費、生徒会費を保護者から徴収している学校はなかったこと、また、PTA会費については、各学校金額は異なるが、徴収している状況が、就学援助費の支給対象としている市はないということから考えると、これらについての対象に加えることは困難である旨のお話をさせていただいている。

7人目の坂井議員からは、性的マイノリティー（LGBT）の人も自分らしく暮らせる小金井にとの質問の中で、学校や市役所でLGBTを周知し、教員研修を実施しないかとの質問を受けました。LGBTに対する教職員の研修等については、東京都教育委員会が発行し、公立学校全職員に配付している人権教育プログラムにはLGBT、性同一性障害に対する理解や対応等が示されており、教育委員会ではLGBTへの偏見や差別を含めた14の人権課題について人権教育プログラムを活用し、校長会、各校の人権教育担当教員が参集する人権教育推進委員会等を通じて研修を行っていることをお伝えしている。

また、2015年に文部科学省から出された性同一性障害に係る児童・生徒に対するきめ細やかな対応の実施等についての通知を受けて、教育委員会の対応はとのご質問があった。教育委員会では27年4月30日付けの文部科学省通知を受けて、各校の校長に対して通知し、性同一性障害に係る児童・生徒についての特有の支援や相談体制の充実について組織的に対応するよう指導する旨を答弁している。

8人目の鈴木議員からは、「インクルージョン都市こがねい」実現に向けた市の取り組みを問うとの質問の中で、LD、ADHD等の子どもたち支援のための各関係部署の連携と、成長過程に合わせた相談支援体制、発達支援ネットワーク構築の現状と課題は何かというご質問である。LD、ADHDなど特別な支援が必要とされる児童・生徒はどのように支援につなげているかという質問に対しては、まず、本人や保護者がその特性に気づかずに悩んでいるようなときは、学校で定期的に行われている校内委員会で、対象とする児童・生徒の実態把握や支援方針、支援方法などについて協議を行い、実際の支援に反映させていること。また、本人や保護者から学校や教員にSOSが発信された場合などは、学校の要請に基づき教育委員会から専門家チームを学校に派遣していることなどについてご

説明している。

3点目として、こうしたお子さんが在籍する普通学級へのボランティアの受け入れ状況、ボランティアの運用の課題についてのご質問があった。教育委員会では、昨年度から通常学級で特別な支援を必要とする児童・生徒に対するボランティアの活用を進めており、このボランティアの受け入れについては教育委員会、小金井市社会福祉協議会の小金井ボランティア・市民活動センター、特別支援教育について高い見識を持った市民の方々の3者が連携協力し、ボランティアの募集や学校への派遣に取り組んでいることについてお話しした。

次に、このボランティア導入に係る成果と課題についてご質問があった。成果としては、特別支援教育についての専門性の高いボランティアに支援に入っただき、児童・生徒の教育的ニーズに応じた適切な支援を行うことができたことをお伝えした。また、課題についてだが、現在のところ、特別な支援を必要とする児童・生徒のボランティアに協力していただける方のさらなる確保が挙げられていることから、教育委員会としては特別な支援を必要とする児童・生徒の支援の一層の充実に向けて、ボランティアの方々との効果的な連携協力のあり方について、今後とも研究を進めていきたい旨の期待という旨をお話ししている。

最後、9人目の岸田議員からは、子育て環境日本一の小金井をつくるためにということで、大きく2点の質問があった。大きな1点目としては、学校支援地域本部の取り組みについてである。まず、国が勧めている学校支援地域本部と地域連携事業協力校との違いはとのご質問である。国が進めている学校支援地域本部と市が進めている地域連携事業協力校の違いについて、大きく2点をお話しした。

1点目は、地域の生涯学習に資するかということである。国では、地域で学校を支援する仕組みづくりを促進し、子どもたちの遊びを支援するだけでなく、地域の住民の生涯学習、自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながり、きずなを強化し、地域の協力力の向上を図ることを目的としていること。これに対して、市では、学校が家庭、地域の力を学校教育の分野で活用することで、学校、家庭、地域の連携強化を図り、学校の教育力を向上させることを目的としていることをお話しした。

2点目では、国が示す本事業を推進する上で中心的な役割を果たすコーディネーターの配置についてお話しました。国は、区市町村レベルで学校支援地域本部の活動の中核的な役割を担い、学校教育の教育課程内支援、教育課程外支援に対する教育支援人材や教育プログラム等の導入に向けたコーディネートを行うコーディネーターを配置するように示していることをお話ししている。市では、そのコーディネーターの人選や人材確保、育成について研究を進めている状況であり、現在、全校での配置は行っていない旨をお話ししている。コーディネートを管理職が統括し、それぞれの分所、学年教員が直接コーディネートを行っている実態についてお話をしている。

平成25年から始まっている地域連携事業協力校のこの間の2年間の取り組みについての成果と課題は何かというご質問があった。成果については2点お話ししている。1点目は、学校ニーズと実態に合った支援の仕組みを、既存の組織を活用しながら再構築したことで、学校教育の活性化を図る手だてや見通しが持てるようになったこと。2点目は、学校教育連絡会を中核として、地域連絡会、自治会、PTAとの連携協力のあり方を話し合い、情報交換することにより、お互いの活動に対する理解を深め、学校教育の支援の発展、充実を図ることができたことをご説明している。

また、課題については、これらの取り組みは学校の教職員と地域、保護者との信頼関係によって成り立っている。そのことで、学校の管理職や教員の異動によってつながりが切れてしまう可能性がある。そのために、学校が組織的に運営していくことが重要であり、学校、地域連携の核を担うべきであり、コーディネーターの発掘、育成が課題として挙げられることをお話しました。

次に、学校支援地域本部で定めるコーディネーターを各校に配置すべきではというご質問があった。学校支援地域本部で定めるコーディネーターの各校への配置は、地域連携を推進する上で重要であると考えており、各学校のニーズに応えられるコーディネーターの発掘、確保や育成を図っていくことが求められていること。また、より広く家庭や地域の協力を得るために、ネットワークづくりも必要になってきていることから、現在まで取り組んできた地域連携事業協力校の取り組みを参考に、国が示す統括コーディネーターや地域コーディネーターの配置等について、生涯学習課などと連携しな

から研究していきたい旨を答弁している。

また、地域連携事業校と放課後子ども教室には共通する部分があり、そのほかにも学校運営連絡会など、学校支援をする会がさまざまあるが、これらを連携あるいは組織化できないかというご質問があった。地域連携事業校と放課後子ども教室、学校運営連絡会とも地域、家庭、住民との連携があり、支援があることが共通事項であり、これらの連携、組織化には各学校がこれまで培ってきた家庭や地域とのつながりやP T Aとの協力体制等を発展、充実させながら、持続可能な仕組みづくりを進めること及び関係各課、地域住民とのより深い連携が必要になってくることから、今後もこれまで取り組んできた地域連携事業校の成果と課題等を参考にしながら、継続して研究に取り組む旨を答弁している。

最後に、大きな2点目として、チーム学校についてのご質問があった。チーム学校には、校長のリーダーシップに基づく学校マネジメント強化が必要であり、そのために校長の補佐体制を強化するための取り組みが必要と考えるが、小金井市の副校長の配置状況、事務職員との事務体制の分担、副校長による教諭への指導體制の現状についてご質問があった。これに対しては、新しい時代に求められる資質、能力を育む教育課程の実現、学校が直面する多様化、複雑化した課題解決を図るためには、学校体制の整備やチーム学校の大きな目的であること、そこで校長にはリーダーシップを発揮し、組織的な教育活動を実施するなど、学校のマネジメント能力が強く求められているため、校長補佐機能の強化が必要となり、校長補佐としての副校長の役割は大きいと考えていることをお話しし、小金井市における副校長の配置状況は小・中学校各1名となっており、事務職員と事務体制の分担については、副校長は学校事務管理の職責があり、学籍管理、文書事務管理、財務管理、施設管理に包括的にかかわっているため、事務の分担については各学校の裁量に応じて対応している状況についてお話ししている。

また、副校長による、教員による教員の指導體制などの状況については、各学校の副校長は日々授業参観、人事考課、週ごとの指導計画に基づき指導を行うとともに、学校O J Tの責任者として組織的に教員の育成を図っていることをお伝えしている。

学校施設マネジメントを強化するために、事務職員が学校運営に積極的にかかわるとともに、教員の事務負担軽減をすることができ

るよう、事務の共同実施の推進、事務職員の向上のための研修の充実など事務処理体制の充実を図っていくことが必要でないかというふうなご質問もあった。

学校の副校長を初めとする教職員に非常に大きな負担がかかっていることは大きな課題として考えていること。これは、これらを解決するために、市では共同事務の実施に取り組もうと準備をしていること。事務を共同実施することにより、副校長を初めとする教員が本来の職務に時間をかけて取り組むことができるようになり、これは小金井市の学校教育の充実につながり、事務職員にとっても共同で複数の職員が事務に当たることから、それぞれの事務能力は大きく向上することも期待できる旨については答弁をしている。

以上、一般質問については大きく9人の方から質問を受けたところである。なお、詳細の報告につきましては、後日、小金井市のホームページのほうに会議録がアップされるので、もしよろしければそちらのほうをご確認いただけたらと思う。

一般質問のほかに、厚生文教委員会があった。9月8日に行われた厚生文教委員会では、行政報告として平成28年度小金井市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての報告を行っている。また、28年9月13日に開催された予算特別委員会においては、第5回の一般会計の補正のうち教育費の学校教育部に関しては指導室のオリンピック・パラリンピック教育推進校事業、言語能力向上拠点校事業等の関係経費の補正予算を行った。これについては、多くの議員の方から質問を受けたが、担当の指導室のほうで的確な答弁を行った。第5回の補正については、予算特別委員会、本会議において原案可決となっている。

また、最後に、9月23日から5日間開催された特別委員会については、学校教育部においては平成27年度に実施した事業の内容や考え方について多岐にわたり質問があったが、それぞれの担当からの的確な答弁が行われたけれども、決算特別委員会では一般会計のみ不認定となってしまった。しかし、最終の本会議においては可否同数により議長裁決により一般会計を含む4つの特別会計全てについて認定されたので、報告をしたいと思う。

第3回の定例会についての報告は以上である。

山本教育長

今、一般質問を中心に説明があったけれども、決算特別委員会

でたくさん出たものもインターネットで見えていただくということ  
でよろしいか。

川合学校  
教育部長

はい。

山本教育長

それでは、生涯学習部長

西田生涯  
学習部長

生涯学習部から報告させていただく。

まず一般質問である。今回も前回に引き続き、生涯学習部関係に  
ついては3名の方からの質問ということでかなり例年に比べてち  
よっと少な目であったなという印象である。概略のみのご紹介とさ  
せていただく。詳しくは、後日、小金井市ホームページのほうでア  
ップされるので、そちらのほうをご確認いただきたいと思う。

生涯学習課関係ではお2人の議員から質問いただいている。まず、  
吹春議員である。市内スポーツ団体での施設利用はどうなっている  
のかということで、子どもを対象としたスポーツ団体等が市立以外  
の大学等の施設を利用できるよう、協議会をつくらないかという趣  
旨の質問であった。

答弁としては、教育委員会と市内のスポーツ関係団体による懇談  
の機会があり、また、市内では2つの大学と包括的な連携協定を締  
結しているところである。それで学生優先という前提はあるけれど  
も、市や教育委員会の責任において、可能な範囲で考えていること  
になる旨などを答弁している。

次に、順番3番目に書いてあるが、岸田議員である。家庭教育支  
援チームということで学校支援地域本部の取り組みについての中  
で質問があった。内容は、不登校を未然に防ぐには、家庭教育の充  
実が必要であるので進めていかないかという趣旨の質問である。

答弁としては、家庭教育について既に生涯学習の視点で行ってい  
るものに、各小中学校で行っている家庭教育学級と3市学芸大連携  
講座の中に該当するものがあること、申し込みを待つのではなく、  
届ける支援などの方策についてというご質問があったが、すぐには  
できないが、先行事例の研究を行いたいことなどを答弁している。

最後に、水上議員から図書館関係で質問があった。中央図書館の  
建設計画はどうなるのかということで、以前の計画に記載されてい

る身近な地域ごとの6館構想による図書館建設の要望と、中央図書館の建設についての質問があった。

答弁としては、現在、図書館は施設のあり方に関する方針、施設計画と言えるものがないが、今後、公共施設問う総合管理計画等も視野に入れて検討を進めることになることなどを答弁している。

次に、厚生文教委員会、9月8日、16日関係である。生涯学習部関係では陳情が1件、玉川上水では小金井桜だけでなく、他の樹木や生き物も大切にさせていただくことを求める陳情書の審査が行われた。採決の結果、委員会及び本会議においても趣旨採択となった。

次に、平成28年度補正予算（第5回）である。平成28年度第5回一般会計補正予算が可決された。生涯学習部関係では、生涯学習課及び公民館関連の予算が可決されている。具体的には、いずれも歳出についてであるが、成人の日記念の日行事を近年の参加者の動向により、これまでの1部制から2部制に変更するために要する経費、また、公民館維持管理に要する経費ということで、樹木剪定委託と東分館ステップリフト改修工事、この2つを出している。そのほかに予算の組みかえ等があった。いずれも可決をしている。

最後に、平成27年度決算である。平成28年10月4日に平成27年度一般会計歳入歳出決算が最終的に認定されている。先ほど、学校教育部長から説明したとおりである。生涯学習部は、関係する社会教育費及び保健体育費についてである。平成27年度においては東センターの委託業務開始などが特徴的な事業としてあった。社会教育費が予算現額7億2,136万7,000円に対し、支出済額7億884万5,443円で、執行率98.3%、保健体育費が予算現額3億2,717万3,000円に対し、支出済額が3億2,462万3,618円で、執行率99.2%であった。

なお、主な質問としては、社会教育関係団体補助金、文化財保存事業費補助金について、貫井北センター、東センターの実績等に関して、チャレンジデーに関して、清里山荘の有効利用に関して、総合体育館の修繕に関して、放課後子ども教室について、図書館デジタルボランティア、公民館保育付講座についてなどがあった。こちらのほうも、詳しい内容については後日ホームページにアップされるので、ご確認願う。

以上である。



山本教育長 以上、学校教育、生涯学習から足早にたくさんの報告があったけれども、何かご質問あるか。

鮎川教育長 質問ではないが、感想を2点ほど述べる。

職務代理者 まず学校教育では、インクルージョン教育に関しての話があった。先ほども話したが、午前中、東小学校に行った際、運動会の後で、かつ3連休明けということもあり、特別な配慮が必要なお子様の中には、心が乱れていらっしゃるお子様が何人かいた。担任の先生お一人で抱え込まずに、学年の先生が協力し、連携して対応していただき、最後には校長先生がお子様へ寄り添って、着席して授業を受けられるよう、お子様の心に寄り添ってくださっていると感じられてすばらしいと思った。

日ごろどうされているのかを伺ったところ、特別支援員の方が週1日、学習支援員の方が週1日、それ以外は先ほど学校教育部長の話にもあったが、ボランティアの方が対応してくださっているという話を聞いた。課題は、さらなる人材の確保とおっしゃっていたが、これから特別な配慮を必要とするお子様も、また疲れがたまっていく状況等も増えていくことと思うので、専門性のあるボランティアの方が増えるとよいと、本日、身をもって感じた次第である。

ボランティアの方が学校に入っていた前には、副校長先生が朝から晩まで対応してくださっている姿を目にしていた。副校長先生が朝、授業が始まる前から放課後まで、お子様に付き添っているところを目にしてきた。副校長先生のお仕事の軽減を、事務の共同化など、考えてくださっていると思うが、このボランティアの方の確保も、重要と思っている。

生涯学習のほうで、図書館などは、他市の施設を借りたり、大学の図書館なども登録すると利用させていただいたりということで、大変便利だ。先ほどスポーツ施設について話があったが、市内の施設や、市立学校のグラウンドや体育館は、フル回転の状態施設貸し出しがいっぱいだと思う。野球やサッカー、体育館もバレーボール等、さまざまなスポーツの方から使用したいけれども使えないと伺っている。

大学や他の施設に甘えてばかりではいけないとは思いますが、学生さん優先ということはもちろんあるが、空いていれば貸していただ

ると大変いいと思っている。ぜひ推進をよろしく願います。

山本教育長           これは感想でよろしいか。

鮎川教育長  
職務代理者           感想である。

山本教育長           そのほかに何かご質問、ご意見等あるか。よろしいか。  
それでは、次に、その他の報告である。  
学校教育のほうはあるか。

川合学校  
教育部長           指導室のほうから1件

山本教育長           指導室長

小林指導室長       全国中学校体操競技選手権大会についてご報告する。  
日本中学校体育連盟主催の第47回全国中学校体操競技選手権大会が平成28年8月23日から25日にかけて、福井県鯖江市、サンドーム福井で行われた。小金井第一中学校の3年、森蒼佳さんが今大会の種目別選手権、段違い平行棒に出場した。森さんは13.50という高得点を出し、全国2位という成績を修めた。また、女子個人総合でも全国10位という成績を修めた。  
全国を舞台に小金井市及び東京都の代表としてベストを尽くした協議を行った。健闘をたたえたいと思う。  
報告は以上である。

山本教育長           これについてはいかがか。よろしいか。  
生涯学習部から報告願う。

西田生涯  
学習部長           先に公民館のほうから報告をさせていただく。  
公民館より、東京都功労者表彰、教育功労についてご報告をするところである。この賞は、東京都において教育の振興に顕著な功績のあった都民を表彰するものである。表彰基準は社会教育及び生涯学習に関する諸活動の指導者として貢献して、活動年数が10年以

上などとなっているところであるが、小金井市において鴨下義昭さんが表彰された。鴨下さんは公民館本町分館、現在は本館になっているが、主催講座である菜園教室の講師として平成14年4月から14年間講座の講師に就任している。また、平成16年4月から平成26年3月までの10年間は、公民館の貫井南分館の主催講座である江戸野菜に親しむの講師もかけ持ちで務められており、熱心に公民館にご指導、ご協力をいただいていた。こちらについて表彰を受けている。表彰式は10月3日、東京都庁第一本庁舎においてとり行われた。

公民館からの報告は以上である。

続きまして、生涯学習課からご報告させていただきます。

石原生涯  
学習課長

それでは、10月9日に行われた「青少年のための科学の祭典 東京大会 in 小金井」について簡単にご報告させていただきます。

会場は、例年同様東京学芸大学を使用させていただき、開催をした。参加者数は7,750名ということで、去年の1万人を超えたことに比べると減ってしまいましたが、午前中の荒天にもかかわらず多くの方に午後からご参加いただけたものというふうに思っている。

中学生ボランティアにつきましては23人の参加ということで、こちらもちょうと3連休の中日ということで、例年に比べて少ない参加とはなったが、市立の中学校5校全てからのボランティアに加え、ご兄弟が市立の中学校に通っていらっしゃる東京学芸大学付属中学生もご参加をいただき、多摩科学技術高校の高校生との交流なども行われて、参加された方は皆さん、有意義な1日であったというふうにおっしゃっていただいている。

ブースの数については104ブースの参加ということで、これは例年並みの参加ブースがあったところである。

簡単であるが、報告は以上である。

山本教育長

ご質問等あるか。よろしいか。

それでは、3番、今後の日程をお願いする。

平野庶務係長

それでは、教育委員会の今後の日程について報告する。

東京都市町村教育委員会連合会管外研修会が、10月14日、金曜日、神奈川県横須賀市で開催される。山本教育長、鮎川委員、福

元委員のご出席をお願いする。

続いて、東京都市町村教育委員会連合会第4ブロック研修会が、10月18日、火曜日、午後3時から三鷹市教育センター3階、大研修室で開催される。福元委員のご出席をお願いする。

続いて、第11回教育委員会定例会が、11月8日、火曜日、午後1時30分から801会議室で開催される。全委員のご出席をお願いする。

続いて、第12回教育委員会定例会が、11月22日、火曜日、午後1時30分から801会議室で開催される。全委員のご出席をお願いする。

続いて、教育委員会委員任命辞令交付式が、12月1日、木曜日、午前8時40分から本庁舎2階庁議室で開催される。全委員のご出席をお願いする。

続いて、第1回教育委員会臨時会が、12月5日、月曜日、午後1時30分から801会議室で開催される。全委員のご出席をお願いする。

続いて、第1回教育委員会定例会が、1月10日、火曜日、午後1時30分から801会議室で開催される。全委員のご出席をお願いする。

続いて、東京都市町村教育委員会連合会第3回理事会及び第2回理事研修会が、1月13日、金曜日、午後2時から東京自治会館講堂で開催される。鮎川委員のご出席をお願いする。

今後の日程は以上である。

山本教育長

何かご質問等あるか。よろしいか。

それでは、以上で報告事項を終了する。

これから日程第3を議題とするところであるが、本件は人事に関する議案である。本件は小金井市教育委員会会議規則第10条第1項に規定する事件に該当するため、非公開の会議が相当と判断するが、委員の皆様、異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

山本教育長

全員異議なしと認め、秘密会を開会する。

準備のため、休憩する。

傍聴人の方におかれては、席を外していただくことになるので、  
よろしくお願ひする。

休憩 午後2時28分

再開 午後2時29分

山本教育長

再開する。

以上で本日の日程は全て終了した。これをもって平成28年第1  
0回教育委員会定例会を閉会する。

閉会 午後2時32分